



第3回「環境コミュニケーション実践研究会」 の参加者を募集します！

持続可能で豊かな地域社会の実現のためには、企業と利害関係者（ステークホルダー）がパートナーシップを築いて環境問題に相対することが急務です。そこで、企業の取組や製品の評判などさまざまな事例を持ち寄って議論する「環境コミュニケーション実践研究会」を開催し、ライフサイクルアセスメント（LCA）に基づく環境情報を用いた、積極的な『社会との対話』をめざします。

第3回はプラスチックの再生利用と影響評価をテーマに開催します。限りある化石由来資源のプラスチックを再生可能な資源として活用するためには、「原料→生産→消費→リサイクル→原料」という循環システムが必要です。この仕組みによる産業振興と価値創出について、環境評価の観点から検討します。皆様のご参加をお待ちしています。

日時
場所

令和8年（2026年）

1月28日 水 13:30-16:45 (開場13:00)

長野県工業技術総合センター材料技術部門 4階視聴覚室
《リアル開催》 長野県長野市若里1-18-1

テーマ

プラスチックの再生利用と環境評価による資源と価値の循環とは
～環境コミュニケーションを実践する方法を探る～

講演

13:35-14:30

題目：「動脈連携による再生プラスチックの品質向上・安定供給と
環境価値の可視化」

講師：一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）
SX戦略事業部 部長/統括研究員 宮崎 昌 氏

事例発表1

14:30-14:45

題目：「バイオマス複合プラスチック材料の開発と製品展開、リサイクル
の取組み」

発表者：上田プラスチック株式会社 営業部開発課 課長 大塚 雅彦 氏

事例発表2

14:45-15:00

題目：『サーキュラーエコノミーを実現する「共創型」モノづくり』
～素材の可能性を、市場の価値へ。技術で架ける橋。～

発表者：株式会社ケーエムケー 代表取締役 川島 隆教 氏

全体討論

15:10-16:30

テーマ：「プラスチックの再生利用と環境評価による資源と価値の循環」
講習および事例発表に続いて、テーマについて参加者全員で討論

16:30-16:45

名刺交換会（飲食は伴いません）

*本事業は長野県の補助を受けて、県内企業によるイノベーション創出に向けた取組を支援するものです

- 定員：30名程度
- 参加費：無料
- 申込法：令和8年1月26日(月)までにHPの申込フォーム、又はメール又はFAXでお申ください
- お申込、お問合せ先：公益財団法人長野県産業振興機構 担当：常田、北沢
TEL：026-217-1634 FAX：026-226-8838 E-mail：green-innv@nice-o.or.jp

会場



〒380-0928 長野県長野市若里1-18-1
(材料技術部門 4階視聴覚室)

案内図：



第3回「環境コミュニケーション実践研究会」参加申込書

公益財団法人 長野県産業振興機構 事務局 あて

E-mail：green-innv@nice-o.or.jp FAX：026-226-8838

第3回「環境コミュニケーション実践研究会」に参加するにあたり、下記事項に同意し申し込みます。

事業所名			所在地	〒
T E L			F A X	
参加者	氏名		所属・役職名	
	E-mail			
参加者	氏名		所属・役職名	
	E-mail			

※会場の都合により本講習会は先着制とし、定員に達したときは募集を締め切らせていただきますので、
お早めにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

- (注1) 本申込書にご記入いただいた個人情報は、「環境コミュニケーション実践研究会」の登録情報として利用し、他の用途には使用しません。
- (注2) 記載いただきました住所やメールアドレスなどに、主催者から各種の案内（研究会・セミナー・発表会など）をお送りしてよろしいでしょうか。（チェック願います。 希望する。 希望しない。）
- (注3) 受講票は発行しませんので、お申込み後は事務局から特段連絡がない限り、当日会場にお越しください。